

処方箋

カルテ番号		発行	年	月	日
病名					
処方	<p> ・薬剤名（一般名）：ペニシリン G ・英名：penicillin G ・分類：抗菌 ・分類（略称）：ペニシリン系 ・用法：注射 ・表示区分：なし </p> <p>[禁忌・慎重投与]</p> <p> ・禁忌：過敏症既往歴・ペニシリン系抗生物質に過敏症既往歴のある患者 </p> <p>[作用]</p> <p>細菌細胞壁のペプチドグリカン合成を阻害し、殺菌的に作用する。</p> <p>[適応]</p> <p>＜適応菌種＞</p> <p>本剤感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、淋菌、髄膜炎菌、シフテリア菌、炭疽菌、放線菌、破傷風菌、ガス壊疽菌群、回帰熱ボレリア、ワイル病レプトスピラ、鼠咬症スピリルム、梅毒トレポネーマ</p> <p>＜適応症＞</p> <p>敗血症、感染性心内膜炎、表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、乳腺炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、淋菌感染症、化膿性髄膜炎、中耳炎、副鼻腔炎、猩紅熱、炭疽、シフテリア（抗毒素併用）、鼠咬症、破傷風（抗毒素併用）、ガス壊疽（抗毒素併用）、放線菌症、回帰熱、ワイル病、梅毒</p> <p>[副作用]</p> <p>ショック、溶血性貧血、無顆粒球症、AKI、TEN、発疹など</p> <p>④豆知識（国試対策事項や使用の注意等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●時間依存性抗菌薬であり、PAE が短い ●耐性菌の増えてきた抗菌薬であるが梅毒においては第一選択薬 ●腎排泄型薬物であり、腎機能により用量調節する事 ●髄液移行性が高い 				